

令和4年度 政務活動報告書（1）

会派又は議員名 公 明

政務活動期間	令和4年5月12日～5月13日（2日間）
政務活動先	全国地方議会サミット2022（オンライン）
政務活動参加者	五十嵐信子、佐々木常子（2名）
政務活動項目	○講演・セッション「住民自治の進展：多様な議員で構成された活力ある議会」に参加 ・チーム議会で取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治 ・一人一人の多様な幸せを実現するデジタル庁のミッション ・住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会 ・各地からオンライン登壇も！オンライン議会の展開事例 ・多様な議員の一般質問を議会の政策形成へ ・コロナ2年の経験をどう活かしていくか!? ・地方議会における男女共同参画の推進と実践 ・速報！議会改革度調査ランキングとトレンド ・Z世代にも届く！デジタルを活用した広報・広聴 ・いまこそ問われる！地方自治と議会の役割
政務活動項目に係る（目的・結果等の概要・所見）	別紙のとおり

令和4年度 政務活動報告書

公明 佐々木常子

- 政務活動期間 令和4年5月12日 13:00—18:00
5月13日 10:00—16:00 (2日間)
- 政務活動先 全国地方議会サミット2022 (zoom)
- 政務活動参加者 五十嵐信子 佐々木常子
- 政務活動項目 基調講演 チーム議会に取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治
北川正恭 早稲田大学名誉教授/元三重県知事
- 特別講演 一人一人の多様な幸せを実現するデジタル庁のミッション
牧島かれん デジタル大臣 (動画出演)
- 講演・鼎談 住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会
江藤俊昭 大正大学社会共生学部 教授
寺沢さゆり 長野県長野市議会議長/全国市議会議長会議長会副会長
伊波篤 沖縄県読谷村議会議長/全国町村議会議長会理事
- セッション 各地からオンライン登壇も！オンライン議会の展開事例
千葉茂明 月間ガバナンス編集主幹/コーディネーター
清水克士 滋賀県大津市議会議会局長
岩崎弘宣 茨城県取手市議会事務局次長
中野智基 愛知県知立市議会議長
松尾徳晴 福岡県春日市議会議長
米丸貴浩 福岡県春日市議会議員/広報広聴委員長
- 講演・セッション 多様な議員の一般質問を議会の政策形成へ
土山希美枝 法政大学法学部教授
西原浩 北海道別海町議会議長
青野敏 北海道鷹栖町議会議員
片山兵衛 北海道鷹栖町議会議員

講演 コロナ2年の経験をどう生かしていくか！？

廣瀬克哉 法政大学総長

講演・セッション 地方議会における男女共同参画の推進と実践

林紀行 日本大学法学部教授／コーディネーター

永野裕子 出産議員ネットワーク発起人・代表

高橋たい子 宮城県柴田町議会議長

平間奈緒美 宮城県柴田町議会副議長

講演・セッション 速報！議会改革度調査ランキングとトレンド

中村健 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長

講演・セッション Z世代にも届く！デジタルを活用した広報・広聴

古井康介 株式会社POTETO media 代表

小林真子 ZEXT 代表

吉永一輝 ZEXT 副代表

講演 いまこそ問われる！地方自治と議会の役割

片山善博 大正大学社会共生学部教授／元総務大臣

総括・宣言

北川正恭 早稲田大学名誉教授／元三重県知事

政務活動項目に係る目的・結果等の概要・所見

2日間にわたり参加させていただきましたが、皆さまの発想、努力、行動に感動いたします。多様な議員、多様な参画とのテーマで行われました。まだまだ女性議員は少ないですが、当別町においては女性議員は3人おり、さらに増えていき男女共同参画が進む事を望みます。牧島デジタル大臣のお話もありましたが、世界を震撼させた新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン化が進んだとのお話がありました。当別町も委員会はオンライン開催が可能になりました。広報委員会では試行的に2回開催されました。講演の中では本会議のオンライン化のお話もありましたが、少なくとも、模擬的、試行的にまずは委員会をオンラインで開催してみる事が必要であると思います。危機管理から言っても、全くやったことがない事を一大事のときに初めてやるのは、上手くいかない可能性が多くあります。まずはやりやすい形から、ハードルを下げて行ってみる事が大事であると考えます。たくさんの事例報告がありましたが取手市の360度カメラ委員会撮影など素晴らしいと感じました。議会改革度ランキングには北海道の町村がたくさん入っておりました。別海町議会では事前に一般質問検討会、質問後には委員会でアドバイス、意見交換、議会サポーターがあり新人議員は心強く、精度が高くなり深くなるのお話がありました。鷹栖町議会では議会傍聴ガイドブックやインパクトのあるチラシなど活発な広報広聴のお話があり、非常に参考になるお話がたくさんありました。北川先生のTTP（徹底的にパクレ）の通り、少しでも良くなるように、町民の皆さまが幸せになるように共に学び改革が進む事を望みます。

令和4年度 政務活動報告書（2）

会派又は議員名 公 明

政務活動期間	令和4年8月24日（1日間）
政務活動先	2022年度 HOPS 地方議員・公務員向けサマースクール（オンライン）
政務活動参加者	佐々木 常子（1名）
政務活動項目	○テーマ「地域を豊かにするカーボンニュートラルの実現における市町村の役割」受講 ・自然豊かな北海道でカーボンニュートラルを目指す上での市町村の役割 ・地域に裨益する再生可能エネルギーと地域循環共生圏 ・脱炭素化と持続的発展を両立するニセコモデルの実現
政務活動項目に係る（目的・結果等の概要・所見）	別紙のとおり

令和4年度 政務活動報告書

公明 佐々木常子

政務活動期間	令和4年度8月24日(水)
政務活動先	2022年度HOPS 地方議員・公務員向けサマースクール (1日コース、ZOOM)
政務活動参加者	佐々木常子
政務活動項目	「自然豊かな北海道でカーボンニュートラルを目指す上での 市町村の役割」 環境省北海道地方環境事務所統括環境保全企画官 小高大輔 「地域に裨益する再生可能エネルギーと地域循環共生圏」 秋田県にかほ市総合政策課 高橋潔 「脱炭素化と持続的発展を両立するニセコモデルの実現」 北海道ニセコ町企画環境課環境モデル都市推進係係長 島崎貴義

政務活動項目に係る目的・結果等の概要・所見

市町村の役割として1, 地域のレジリエンス機能の強化をはかり災害時にも再エネや蓄電池を購入すり事で停電しない地域づくりを推進。2, 地域経済への便益の創出、ソーラーシェアリングにより既存産業に収益向上。売電収益・省エネ設備への再投資。3, 地域の安全性の確保、太陽光発電設備の崩落等の事故を防ぐ。再エネポテンシャルの高い北海道は知らぬ間に再エネの導入が進むリスクがある。受け身ではなくグランドデザインに思考が必要。

にかほ市は石油産業から再生可能エネルギー産業へ、エネルギー先進地となっている。行政が風力発電の設置可否をあらかじめ示すゾーニング事業を行っている。現地調査、住民との情報交換・意見聴取。地域に風車による還元を目的として事業者から寄付を募る基金に取組みをしている。

ニセコ町はニセコ町気候非常事態宣言、2050カーボンニュートラルを表明。自転車の適切な使用を促進。再エネ事業の適正な促進。高気

密高断熱の庁舎、民間社員寮など脱炭素化の取組み、NISEKO 生活。
モデル地区ニセコミライ、地域課題解決の先進モデル地区の形成。

当別町においても、新駅に地熱発電によるロードヒーティングが施工されるなどの取組みが行われている。また風力発電への反対運動などが起こっており、脱炭素化の推進は情報共有と住民との意見交換が大切であると思う。温暖化がますます進み異常気象が普通の状態のような近年だが、以上事態を少しでも食い止めていけるよう学び実践していきたいと思う。

令和4年度 政務活動報告書（3）

会派又は議員名 公 明

政務活動期間	令和4年8月24日（1日間）
政務活動先	札幌市
政務活動参加者	五十嵐 信子（1名）
政務活動項目	○地方議員研究会主催の決算審査直前研修を受講 ・決算審議の現地研修 基礎 ・決算審議の現地研修 応用
政務活動項目に係る（目的・結果等の概要・所見）	別紙のとおり

政務活動報告書

公明 五十嵐信子

- 政務活動期間 2022年08月24日(水) 10:00~12:30・14:00~16:30
- 政務活動先 場所 札幌市中央区北4条西4丁目 札幌国際ビル8階会議室
「地方議員研究会 元副市長から学ぶ 決算審査直前研修」
講師 元・廿日市市(はつかいちし)副市長 川本達志
- 政務活動参加者 五十嵐信子
- 政務活動項目 決算審議の实地研修 基礎
- * 決算質疑で外してはいけない勘所
 - * 決算書を見ても解決しない謎
 - * そもそも自分の街の決算状況を理解できていますか?
 - * これで安心! 議員としてザックリ掴む
- 決算審議の实地研修 応用
- * 職員が聞かれたくないこと
 - * 一目置かれる質疑に必要な準備
 - * 決算での指摘を予算に生かす
 - * 財政は比較して分析する

(基礎編・審査方法と視点)

- ・決算ができるまで
- ・主要施策の成果に関する説明書を見よう
- ・アウトプットとアウトカムの実例

決算審査の視点は、住民の福祉の増進に努めること。そして最小の経費で最大の効果を上げるようにしなければならない。



チェックは議会しかできない。議会が放置して是正しなければ破綻する。
批判的に見ていくこと。まずは正しく見てはいけないとポイントの説明があった。事業の成果は上がっているか。改善すべきことはないか。
持続可能な財政状況にあるか。ここが審査の視点である。

首長は新規重視、やりたいことを発表する 予算中心主義。それに対して議会は、そのやりたいことがどのように成果として出ているか？からの視点が大事なので決算を起点にチェックから始めていく。そして同予算に生かされているのか？決算を中心として予算サイクルを作ることが大切。決算から予算へ意識してプロセスを作っていくことを学ぶ。

(応用編・財政分析)

- ・自治体の財政は比較が全て
- ・政府の方向性と自分の街の決算を見る
- ・こういう質疑が役所を動かす

自治体の未来の民主主義を守るのが議会にはある。中長期の財政計画（方針）は毎年度作成し、核燃の環境変化をふまえたものとしてローリングし、予算審議前に議会が執行部と共有することの大切さを学ぶ。